

Pick Up News 今年もオープンキャンパスや子ども向けサイエンスイベントを通じて、多くの皆さまに建築学の魅力を体験していただく機会を設けることができました。ご来場いただいた皆さまをはじめ、企画・運営に協力してくれた学生の皆さんに心より感謝申し上げます。さらに、今年は研究室対抗ボウリング大会を開催し、研究室や学年の枠を越えた交流を深めることができました。学生と教職員が気軽に語り合える機会にもなり、学科全体の一体感がこれまで以上に高まってきたことを大変うれしく感じています。

まもなく夏休みを迎えます。大学生活の中でも、自らの世界を広げることのできる貴重な時間です。旅先でまちや建築に触れること、新しい人との出会いを楽しむこと、あるいは研究やものづくりにじっくり取り組むことなど、その過ごし方はさまざまです。ぜひこの夏ならではの経験を積み重ね、多くの学びと発見を得てください。

皆さんが充実した時間を過ごし、ひと回り成長した姿で秋学期を迎えられることを楽しみにしています。


@TOHTECH_ARCH

5月から在学が学生目線で情報発信してくれています。皆さんの積極的なフォローをお願いします！

**学生・教員合わせて約160名が参加！研究室対抗ボウリング大会
— 研究室の枠を越え、交流と親睦を深めました —**

今年度、建築学部では研究室対抗ボウリング大会を開催しました。学生だけでなく教員も参加し、約160名が集まる学部全体の交流イベントとなりました。当日は研究室ごとにチームを組み、白熱したゲームが繰り広げられ、会場は終始大きな歓声と笑顔に包まれました。普段は研究や授業で接する機会の少ない学生同士や教員との交流も深まり、研究室や学年の枠を越えた親睦を深める貴重な機会となりました。建築学部では、このような交流を通じて、互いに学び合い、支え合える学びの環境づくりを大切にしています。今回のボウリング大会をきっかけに、学部全体の一体感がさらに高まったことを実感しています。

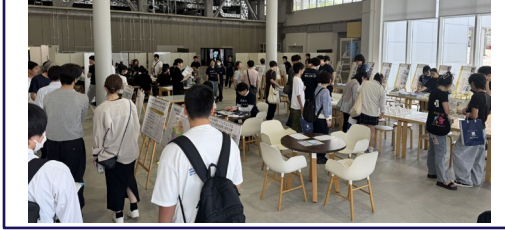
なお、記念すべき第1回大会は、鍵屋研究室が見事優勝を果たしました。優勝した鍵屋研究室の皆さん、おめでとうございます。来年度以降も継続して開催し、建築学部の新たな伝統行事として発展させていきたいと考えています。

右の写真は、学生がデザインした大会オリジナルTシャツです！



**未来のキャンパスライフを体験！
第1回オープンキャンパスを開催しました**

6月27日（土）に第1回オープンキャンパスを開催しました。ご参加いただいた高校生ならびに保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。当日は建築学科の展示ブースに多くの方々にお越しいただき、盛況のうちに終了しました。学科では、設計課題展示や教員・研究室紹介、地震体験コーナー、個別相談コーナーを実施し、高校生の皆さんには建築学科での学びや学生生活を身近に感じていただけたのではないかと思います。学生スタッフとの交流や教員との個別相談では、進路や大学生活について熱心に質問する姿も多く見られ、終日活気あふれるオープンキャンパスとなりました。



Pick Up Lab. 鍵屋研究室のテーマは、「安心で豊かな生活を環境と防災の両面から創造する」です。建築やまちづくりの立場から、こうなったらいいな、といった夢を自由な発想と技術的な可能性で裏付けて、日常の生活を安心で豊かなものにする方法を「かたち」にして、社会に向けて提案していきます。いわば建築・都市と装置、情報の新しい関係を考えて未来のエスキースを描く研究室です。今年度は、住宅の自然換気と虫の侵入経路、湿気と木造住宅の耐久性、避難所としての体育館の室内環境など日常生活の様々なテーマに取り組んでいます。



研究室卒業生との記念写真



研究室対抗ボウリング大会
(第1回エスキース杯) でまさかの優勝！



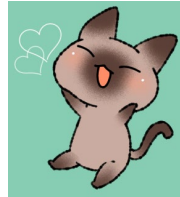
3年 K.K さん
郡山北工業高校 出身

Pick Up Student

大学生活も3年目を迎え、後半戦に突入しました。現在は専門的な設計課題に追われる日々ですが、自分の思い描いた空間をどう具体化し、人に伝えるかという難しさと、それが形になっていく過程の楽しさを同時に実感しています。

建築の学び以外では、趣味のカメラで風景を切り取る時間を大切にしています。被写体とじっくり向き合う経験は、設計における視点や感性にも良い影響を与えてくれていると感じます。

これからは研究室配属や就職活動と、自分自身と向き合う場面がますます増えていきます。忙しい日々ですが、建築への探究心と好きなものへの情熱を忘れず、悔いのない充実した大学生活を過ごしていきたいです。



1年 C.H さん
宮城県工業高校 出身

Pick Up Student

大学に入学してから早くも3ヶ月が経ち、新しい環境にも慣れ充実した日々を送っています。模型製作や製図などは大変ですが、工業高校で培ったものを活かして課題に取り組んでいます。思い描いたものが形になっていく過程はとても楽しく、入学してからさらに建築が好きになりました。工業高校出身なので建築科目では有利ではあるものの、製図ではいまだに苦戦している部分もあります。自分に合ったやり方を見つけるため、さらに良い作品にできるよう試行錯誤しながら取り組んでいます。普通科目においてもまだまだ苦手なところがあるので、どちらの科目も落とすことの無いよう気を引き締めつつ、楽しみながら大学生活を過ごしていきたいです。